

# 2023年度 メリー★ポピンズ 神楽坂ルーム 事業報告書 (保育所における自己評価)

## 1. 2023年度の概要 ～年度の基本方針を受けて～

保育理念「にんげん力。育てます。」及び保育方針「センス・オブ・ワンダー」「人対人コミュニケーション」を毎月の園会議で具体例をあげながら深掘りし、保育者のスキルアップと認識の共有を図ることに注力した。

また園目標である「子ども、保護者の思いの一步先を受け止められる保育者チームになる」については、3分間対応の好事例を紹介しながら、保護者の思いを聞き取り姿勢が特に下期以降見られるようになり引き続き、次年度も保護者の思いを受け止められる保育者チームに育てる。

### 〈1〉 保育内容の充実・質の向上

1	計画・ねらい	スキルアップ研修、外部研修等（園長大学@・保育士大学講座）に積極的に参加し、個人スキルアップ向上を図ると共にスタッフと共有する。
	実践結果	スケジュール化し、各研修参加は個人差なく増加した。 園会議などで共有する時間が不足していた。
	次年度方向性	早めに、個人別にスケジュール化し、体系的なスキルアップに繋げる。 園会議以外で、共有する会議の開催を実施する。
2	計画・ねらい	「出来ない」「必要ない」「無理」「ダメ」を口に出さない、感じさせないことをチームの約束とする。
	実践結果	事例をあげ、課題解決を話し合い、ポジティブな考え方と方向性を共有することに努めた。
	次年度方向性	常に、子どもたちの自主性を尊重する姿勢を確認し、職員都合での判断をしない。職員同士で注意し合う。
3	計画・ねらい	・保育内容の見直し、改善点を随時、シッターノートに残して検証できるように話し合う。
	実践結果	シッターノートへの記載は増加した。園会議での共有はあったが、理解し合うまでには至らない。
	次年度方向性	園会議以外の会議を定例化し、話し合い機会を作り出す。 意見交換と共有に尽力する。

### 〈2〉 保育所を利用する子どもの保護者への支援

1	計画・ねらい	・子どもの発達や姿を的確に伝えるために、タイムライン、連絡帳、3分間対応のレベルを標準化し、スタッフ格差を是正する。
	実践結果	タイムライン、連絡帳の記載内容を振り返り、是正箇所の共有を図る。3分間対応の好事例を園会議でワークショップする。

	次年度方向性	更に、好事例を共有し個人差を是正する。 3分間対応での基本と会話の注意事項を具体化する。
2	計画・ねらい	家庭環境、就労状況、子育て指針を聞き取り、個々の事情、思いを理解することに尽力し、多様な要望を理解する。
	実践結果	聞き取る姿勢は向上したが、内容の深掘りが出来ていない。 職員自身の社会性を教育しきれていない。
	次年度方向性	個人情報に留意しながら、「聞く力」を養うことに注力する。 「なにができるか」を常に考えられるチームになる。
3	計画・ねらい	接遇の意味、深さ、難しさを様々な事例から学び、更に一步先の対応を模索していく。
	実践結果	下期にかけて、職員への信頼関係が深まった。個々の保護者の思いの一面を理解できるようになる。
	次年度方向性	個人面談を強化し、会話を深め更に信頼関係を構築する。 新入園児保護者との会話を当初から意識的に深める。

### 〈3〉 地域の子育て支援事業

1	計画・ねらい	地域との交流機会を具体的に分析し、活動内容を多様化する。
	実践結果	新たな交流施設の開拓はできなかったが、活動は多様化した。
	次年度方向性	情報収集を強化し、施設訪問、イベント参加を増加させる。
2	計画・ねらい	地域保育施設とのコラボレーションを提案する。
	実践結果	実践できなかった。
	次年度方向性	情報収集に努めて、機会を作り出す。
3	計画・ねらい	榎町子ども支援センターと連動して子育て相談の多角化を図る。
	実践結果	施設利用回数増加により、児童、保護者との接点は出来た。
	次年度方向性	センターとの取り組みを話し合い、交流機会を作り出す。

### 〈4〉 次世代を担うスタッフ育成

1	計画・ねらい	「保育者のにんげん力」向上のための個人別分析を本人と作成する。
	実践結果	HRブレインを軸に本人との個人面談を実施し課題を示す。
	次年度方向性	個人面談を年間4回実施し、更に理解を深める。
2	計画・ねらい	保育の楽しさ、やりがいを実感し共有し合う。
	実践結果	毎日の取り組みの工夫と、各イベントの準備を全職員で強化共有した。
	次年度方向性	環境整備により、子どもたちに自主性を促し観察し、成長を喜び合う。
3	計画・ねらい	他園交流、研修に参加し、法人の運営方針を再認識する。
	実践結果	他園交流は実施出来なかった。各種研修参加は増加する。

	次年度方向性	スケジュール化し、他園交流、研修参加を強化する。
--	--------	--------------------------

## 〈5〉環境実施目標

1	計画・ねらい	年間計画として子どもの成長を促す園内環境の改善を実施する。
	実践結果	ゾーン保育の見直しと老朽化していた玩具の破棄。
	次年度方向性	ねらいを明確化し、更に工夫しながら、選べる環境作りを探究する。
2	計画・ねらい	一つ一つの労働の意味合いを保育者も理解し実行する。
	実践結果	担当者以外の参加意識がまだ薄く、課題を残す。
	次年度方向性	子どもたちと共に考え、実践する。
3	計画・ねらい	プランター、畑仕事の改善と食育計画との連動を強化する。
	実践結果	計画通りには進められていない。食育活動は毎月実施したが連動性は薄い。
	次年度方向性	無理のない計画と期中修正をしながら、成果に繋げる。

## 2. 施設運営

### <1> 児童利用状況

月極利用児童受託状況（延べ人数）

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
年度前半： 4~9月	11人	60人	45人	人	人	人	116人
年度後半： 10~3月	24人	66人	42人	人	人	人	132人

延長保育利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用総 人数	2人	2人	2人	2人	4人	2人	2人	2人	1人	3人	2人	2人	26人
うち0 歳児	0人	0人	0人	1人	0人	0人	1人						

## 一時保育利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用総人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人						
うち0歳児	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人						

## &lt;2&gt; 開所時間

7時00分～20時00分

## &lt;3&gt; スタッフ構成 (3月1日時点)

常勤スタッフ	保育士	4人	看護師	-人	栄養士	-人	調理員等	1人
パートスタッフ	保育士	2人	補助	1人	調理	-人	事務	-人
	用務	-人	再雇用スタッフ	-人	嘱託職員	人	嘱託医	1人

## 3. 運営報告

## &lt;1&gt; 施設内会議

会議名	実施回数	会議内容
園会議	月1回 ※2,3月は策定会議にて実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピテンシー。</li> <li>・保育の質向上に関わる勉強会。</li> <li>・本部の伝達。</li> <li>・運営面での課題、改善点の共有。</li> <li>・イベントのねらい、準備進捗確認。</li> </ul>
給食運営会議	月1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・喫食状況確認。</li> <li>・食育活動共有。</li> <li>・アレルギー対応。</li> </ul>
事故防止委員会	月1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自園、他園の記録から内容確認し防止策を協議。</li> </ul>
ケース会議	月1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児の発達状況及び共有事項確認。</li> </ul>
昼会議	月1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営全般確認、共有。</li> <li>・連絡。</li> </ul>

## &lt;2&gt; 出席した施設外会議（Web 参加含む）

会議名	実施回数	参加スタッフ
施設長会議 ／法人本部	月1回	施設長
施設長勉強会 ／法人本部	月1回	施設長
食育会議 ／法人本部	年4回 (5.7.11.2月/5.8.11.2月)	施設長 調理スタッフ
保健会議 ／法人本部	年4回 (5.7.11.2月/5.8.11.2月)	施設長
子育ての質を上げる会議	月1回	保育士

## &lt;3&gt; 系の設置状況

係名	活動の様子・省察
衛生管理係	・ 児童保健衛生管理。 ・ 感染症予防対策の遂行管理。
安全対策係	・ 避難訓練実施。 ・ 安全な環境の整備。
防火管理者	・ 消防計画の作成。 ・ 消火、通報及び避難訓練の定期的実施。
食品衛生管理係	・ 提供食材の衛生管理。 ・ 在庫管理。
畑係	・ 年間計画立案、実行。 ・ 畑の整備及び管理。
生き物係	・ 生き物（観葉植物含む）の飼育全般、管理。

## 4. 保育支援

## &lt;1&gt; 保育・保育参加・保護者面談および発達相談・園児の保護者への支援および意見要望への対応

保護者面談および発達相談	4～3月まで 合計4名 が参加済み （3月1日時点） ・ 発達段階での心配事、疑問、相談。
運営委員会	運営委員会を6月16日、11月17日に同園にて実施し、参加した保護者4名 詳細は議事録に記載

## <2> 計画した年間行事の振り返り

- ・別紙「2023年度年間スケジュール」に掲載
- ・保育参加・保護者面談は随時開催

## <3> 給食・食育に関する実践結果

1	計画・ねらい	意欲的にかつ楽しさを感じられる環境と保育者との関わりを大切にする。
	実践結果	食に対する意欲を育て、また食具を大切に扱うことを身につける。
	次年度方向性	バイキング方式にトライし、適切な量を理解するようにする。
2	計画・ねらい	保護者と情報を共有し、連携を取り「食を営む力」を養う。
	実践結果	保護者面談時に、現状の詳細を聞き取り、情報共有をする。登園、降園時にも双方で気になることを確認する。
	次年度方向性	個別面談の定例化を推進し保護者と認識を共有する。
3	計画・ねらい	畑にて栽培した野菜を調理し、自然の恵み、循環を知り命の大切さを感じる。
	実践結果	年間計画通りは実施されず、期中での臨機応変な対応がされなかったが、栽培に成功した野菜の調理は意欲的に取り組めた。
	次年度方向性	自園プランター栽培と畑仕事先での栽培に工夫を凝らして、子どもたちと育て、収穫を目指す。

## <4> 保健に関する実施結果

実施項目	詳細
園児健康診断	6月26日／12月25日に実施
保健だより	毎月25日におたより配信を実施
スタッフ健康診断	年1回実施
スタッフ検便	毎月1回（全スタッフ対象）
その他実施した園児への保健指導、又は、取組等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手洗い、歯磨き、うがい指導。</li> <li>・トイレの使い方指導。</li> <li>・爪切り、頭髪の清潔点検。</li> </ul>
エピペン使用できるスタッフの状況	・本日時点で、在籍スタッフ4名のうち、全員が使用可能

AED 使用できるスタッフの状況 (AED 設置施設のみ)	未設置
その他保健に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス及び他ウイルス感染予防のため、手洗い・うがい指導の徹底。</li> <li>・消毒、換気の慣行。</li> <li>・嘔吐処理研修。</li> </ul>

### <5> 各種点検

危機管理	設備点検・事故防止チェック	4・7・10・1月の25日に計4回実施済み
	防災自主点検 (備蓄品点検含む)	6・12月の25日に実施済み
	避難消火訓練	毎月1回/15日に計12回実施済み
	不審者侵入訓練	6・12月の25日に実施済み
	情報セキュリティチェック	5月・11月に実施済み
	誤飲・誤嚥防止チェック	4・7・10・1月の25日に計4回実施済み
衛生管理	衛生管理点検表/毎日	毎日実施
	衛生管理点検表/毎週	毎週金曜日
	衛生管理点検表/毎月	毎月25日に計12回実施済み
	個人衛生点検簿/毎日	毎日実施
健康管理	予防接種状況・既往歴の確認 /保険証期限確認	年2回/4・10月 ⇒4月25日、10月25日に実施済み
	身長体重測定	毎月1回/20日 実施済み
	児童健康診断	内科健診 各年2回/6月26日、12月25日
運営管理	児童・保護者の人権に関する チェック	年2回/4・10月の園会議時 ⇒4月13日、10月5日に実施済み
	コンピテンシー自己採点	毎月1回/園会議冒頭5分間 実施済み
	利用者アンケート調査	8月25日～9月5日に実施済み

## 〈6〉実施した環境整備の状況

1	計画・ねらい	室内において清潔さと安全が保障され、身体発達を促し遊べる。
	実践結果	毎日の清掃、消毒の慣行と棚、玩具の破損等の点検を実施した。
	次年度方向性	調理室、事務所、更衣室の整頓と清掃も合わせて実施する。
2	計画・ねらい	動植物などの自然物が身近にあり、命の大切さや不思議さを体感できる
	実践結果	金魚・川魚・めだか・ハムスターの世話。年間計画に沿った植物の栽培。
	次年度方向性	植物の栽培の成功、失敗を振り返り、年間計画を組み立てる。
3	計画・ねらい	子どもたちの成長、発達に何が必要か、他園好事例を収集し取り入れる。
	実践結果	玩具の見直し、買い替えて、ゾーン保育の組み換えを実施する。
	次年度方向性	畑、プランターでの栽培計画の再構築とゾーン保育の工夫を進化させる。

## 5. 危機管理（防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ）

1	実践結果	消防訓練、避難訓練、避難訓練開催通知、自衛消防訓練通知、上級救急救命資格取得（継続）手続き完了。
2	実践結果	防災自主点検、危機管理マニュアルの整備、自衛消防組織の設置、緊急地震速報運用を行い、災害発生時には対応フローチャートに従う。
3	実践結果	事故防止チェック及び設備点検チェックの実施、安全教育、SIDS防止策を行い、ケガ発生時には対応フローチャートに従う。
4	実践結果	不審者侵入対応訓練の実施、笛の携帯、代理送迎者の把握、不審者情報の収集と共有を行い、不審者侵入時には対応フローチャートに従う。
5	実践結果	光化学スモッグの知識を習得し、注意報発令の把握を行いながら、発生時には光化学スモッグ発生対応及び行政連絡に従って対応する。

## 6. 実習生・中高生の受入

### 〈1〉今年度の振り返り

本年度、実績無し。

## 7. スタッフ研修

### <1> 園内研修の開催

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
コンピテンシ ー自己採点	29日 9名	25日 9名	29日 9名	26日 9名	29日 10名	27日 9名	27日 9名	29日 9名	27日 8名	29日 7名	28日 7名	29日 7名
園研修	13日 6名	11日 6名	8日 6名	6日 6名	3日 7名	7日 6名	12日 6名	9日 6名	7日 5名	11日 5名	8日 5名	7日 5名

### <2> 外部研修への出席

日程	主催	研修名	出席	施設長推薦
8月18日	東京都福祉保健財団	乳幼児の栄養と食事	1名	有
8月20日	東京都福祉保健財団	発達が気になる子どもへの対応	1名	有
8月31日	東京都福祉保健財団	乳幼児保育	1名	有
9月14日	東京都福祉保健財団	事故防止と事故対応	1名	有
9月20日	東京都福祉保健財団	おもちゃ制作	1名	有

### <3> 法人支援制度の活用・出席

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
業務改善研修 (子育ての質を上げる会議)	18日 1名	16日 1名	20日 1名	18日 1名	22日 1名	19日 1名	17日 1名	21日 1名	19日 1名	16日 1名	20日 1名	19日 1名
施設長勉強会	18日 1名	16日 1名	20日 1名	18日 1名	22日 1名	19日 1名	17日 1名	21日 1名	19日 1名	16日 1名	20日 1名	19日 1名
全社員研修	9月に動画視聴にて研修を実施(全スタッフ対象)											

### <4> スタッフ個人別育成計画

施設長が年1回実施するフィードバック面談時に「個人ごとの次期の目標設定と併せて、次期の育成計画を施設長が所定様式を使用して個々に伝えた。半期に一度、中間面談の実施を行い、進捗確認をした。

## 8. 地域交流

### <1>今年度方針・テーマの振り返り

榎町子ども支援センターの利用回数が11回と前年度（6回）より大幅に増え、地域児童、保護者との交流が深まった。また、地域介護ホームで、各イベント参加によって地域交流の基盤が確立した。

### <2>実施した地域交流

活動行事	内容
青空保育（保育園主催）	月1回 公園名：鶴巻南公園にて
商店街ツアー	週1回 主な行き先：新宿天神郵便局、花市、五芳齋、毘沙門天、赤城神社、おかしのみちおか、ドミノピザ、八大豆腐店、等
世代間交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月29日に介護老人施設「りっくる」にてハロウィンイベントを開催。</li> <li>・12月25日に介護老人施設「りっくる」にてクリスマスイベントを開催。</li> <li>・2024年1月12日に介護老人施設「りっくる」にて伝承遊び「投扇興」に参加させて頂く。</li> </ul>

## 9. 小学校との子ども間交流・職員間交流

「該当無し」

## 10. 要支援児

「今年度、対象園児なし」

## 11. 子育て支援事業

今年度の子育て支援事業・イベント・子育て相談・青空保育を含む延べ来園者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1名	-名	-名	1名	-名	-名	-名	1名	-名	-名	-名	-名	3名

実施項目	詳細
園開放	(月)～(土) 9:30～16:30 にて実施

子育て相談	(月)～(土) 13:00～16:30 ⇒計4件相談実施済み
ちきんえっ ぐだより	毎月1日発行

## 12. 園運営の向上

### <1>福祉サービス第三者評価の受審

今年度の受審なし。

### <2>園による自己評価の実施

2023年5月29日、2024年1月31日に「内部監査チェック表」を用いて、以下の通り、自己評価を実施済み。

自己評価開始時刻：8時30分

自己評価終了時刻：17時30分

自己評価実施者：内部監査担当者、施設長、職員 5 名

### <3>利用者アンケートの実施

施設利用 保護者に対し、アンケートを実施

アンケート配布日：8月25日

アンケート回収率：100%

(省察)

保護者様からのコメント

・「保育園に通い出してから色んなものを見て触れて自宅では体験出来ない事を経験出来ているので、日々成長を感じる。先生方には大変感謝しております」

・「子供たちが楽しめるように安全であるように力を尽くして下さっている先生方に感謝しています。若い先生方は時間が経つにつれて遅しく頼りになる印象になってきているのが印象的です」

など総じて、高評価を頂く。

## 13. 苦情解決・ケガのうち報告すべき事項

ご意見ご提案デスク（HP・メール・電話）、口頭・書面・連絡帳・ご意見ご提案ボックスによって寄せられた全ての意見・要望・苦情について、原則、「苦情対応体制」に従い、法人として解決を図る。以下、報告すべきご意見・ケガに関しては次の通りとなる。

**〈1〉 報告すべきご意見**

報告すべきご意見：0件

**〈2〉 報告すべきケガ（事故含む）**

報告すべきケガ（事故含む）：0件

以上

作成日：2024年3月15日

作成者：メリー★ポピンズ 神楽坂ルーム  
施設長 金高 修太郎